



大阪市立大学
工学部同窓会

同窓会だより

大阪市住吉区杉本 3-3-138

TEL 06(6607)8373

FAX 06(6605)2769

発行人 宇野 勝久



《 目 次 》

ごあいさつ	2	2020年工学部入学生名簿	16
工学部・工学研究科の近況	3	〳 工学研究科入学生名簿	16
学科の近況・会員短信 (機械工学科).....	4	〳 工学部卒業生〔就職・進学先〕	17
〳 (電子・物理工学科).....	6	〳 工学研究科修了生〔就職・進学先〕	17
〳 (電気情報工学科).....	8	新型コロナウイルス感染症拡大による	
〳 (化学バイオ工学科).....	10	困窮学生の支援について.....	18
〳 (建築学科).....	12	事務局便り	21
〳 (都市学科).....	13	「工学部同窓会の集い」開催中止のお知らせ	
工学研究科・工学部研究分野	15	連絡先調査のお願い	24

ごあいさつ

大阪市立大学工学部同窓会長 宇野 勝久



工学部同窓会会員の皆さまには、ご健勝のこととお慶びを申し上げます。また日ごろより本会の活動にご理解とご尽力を賜り、心から感謝と敬意を表する次第です。

本年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、医療崩壊や経済停滞など社会に大きな影響を与えた一年でした。大学では全学の施策として新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮する学生を対象に学業を継続するための支援策として、5月に「緊急支援給付金制度」が創設され、返済不要の奨学支援金を給付しました。工学部・工学研究科でも、経済的な理由により修学を諦めなければならない学生を一人も出さないという精神のもとで、学生への支援策として7月に「COVID-19困窮OCU工学生支援奨学金」制度が創設され支援活動が開始されました。

工学部同窓会では、全学の支援策「緊急支援給付金制度」に応えるために、5月25日付で「夢基金」に500万円の寄付を行いました。さらに8月に工学部・工学研究科へ300万円を、その後、現・元工学部教員や卒業生に寄付をお願いし、10月時点で330余名の方からいただきました寄付金600万円を寄付させていただきました。まだまだ新型コロナウイルス禍が収まる気配がありません。工学部同窓会としては、必要とあれば今後とも支援活動を継続していきたいと考えております。

ところで、2022年4月から大阪府立大学と合併後の新大学「大阪公立大学」がスタートします。新学長に辰巳砂 昌弘（たつみさご まさひろ）様が決定したことも報じられました。新大学における工学部同窓会の在り方を決める必要があり、同窓会理事会で合併後の同窓会について検討する

ワーキングチームを結成しました。今後このワーキングチームが中心になって大阪府立大学の工学部系の同窓会組織の役員の方々と協議を行っていくことになりました。昨年の9月に大阪府立大学の企画総務課卒業生室長と面談し、大学合併後の工学部同窓会の在り方について協議を開始することを確認しました。

同窓会活動の一環として、例年行っている11月3日のホームカミングデーへの参加や学生を対象とした工場見学会は、昨年は残念ながら新型コロナウイルス禍のために中止となりました。

私見ですが、今後工学部同窓会活動として、大学の工学部へ密度の高い支援活動を行うために、同窓会活動の一環として、在学生や先生方との協議の場を設けてはと考えております。

たとえば在学生との協議の場は、就職や仕事の実際、職業観や人生観といったことについて語り合うことで、世代を超えて、また業種や専門という垣根を越えて互いの刺激となり、学生たちの意思決定の一助となるような場です。これは学生にとって得がたい機会であるとともに、卒業生にとってもこの体験は貴重な体験となると思います。

最後に、大阪市立大学創立140周年の記念事業の一環として、卒業生の八木孝昌様著の五代友厚伝が出版され、出版記念碑が五代友厚像の横に建立されました。この五代友厚伝出版記念碑建立披露式典が9月26日に開催され、工学部同窓会代表として出席しましたことをご報告申し上げます。

（建築学科 1973年卒）



「COVID-19困窮工学生支援制度」支援募金 ご協力へのお礼ならびに工学部・工学研究科の近況

工学研究科長・工学部長 長崎 健

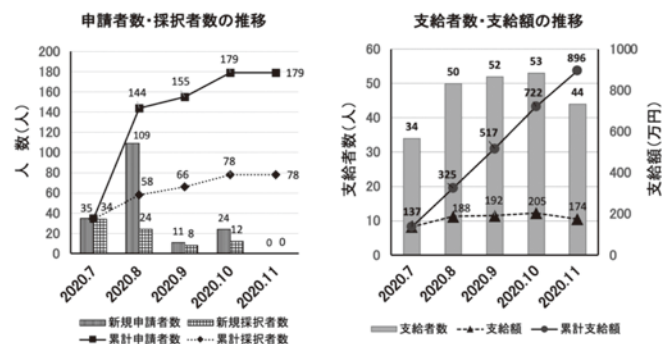


先日、故佐藤前研究科長行きつけの河島寿司に行く機会がありました。あれから3年あっという間に過ぎようとしていることを実感すると共に、工学研究科内の変革、そして大学の変革に取り組んで来たことが小さい事だと感じてしまう程のCOVID-19による社会変革が現在進行しています。激動の一言では片付けられませんが、同窓生の皆様におかれましては個々の立場でこの大波を乗り越え、新生活様式に対応されていることと存じます。

10月21日、新大学に向け文科省設置審への必要書類提出も無事終わり、市大工学執行部としての活動も一年半余りを残すのみとなりましたが、引き続き貫上副研究科長、川合教育研究審議員と共に新大学での工学研究科をより魅力あるものとするべく教員の皆さんと力併せ努めています。

先ずは教員異動のお知らせです。本年3月に、辻本浩章教授、横山俊祐教授、杉山久佳准教授が定年でご退職、また林和則教授と吉岡真弥准教授が転出、ガヴァンスキ江梨准教授もご退職された一方、4月には野口博史准教授（スマートセンシング）、増田勇人講師（熱プロセス工学）、西野雄一郎講師（建築計画）、林巖助教（橋梁工学・鋼構造）、またクロスアポイントメント制度により黒田智子教授（建築史）、藤本恵美子助教（熱プロセス工学）が着任されました。また、徳尾野徹教授、鈴木裕介准教授、蕭 関偉准教授、吉本佳世講師が昇任され、教員の新陳代謝も進んでおります。さらに、10月には大森健史准教授（流体工学）とクロスアポイントメントによる高井飛鳥助教（機械力学）が着任し工学部・工学研究科の教育・研究体制のより一層の充実強化に努めています。残念なことに8月、原晋介教授（情報通信工学）が不慮の事故により急逝されました。心より哀悼の意を表します。

学生の動向ですが、平成31年度に学部269人、修士200人、博士7人が巣立つ一方、今年度は学部300人、修士202人、博士8人の新入生を迎え入れました。平成26年度からスタートしました博士課程リーディングプログラムは昨年度で文科省からの支援が終了しましたが、自主運営でプログラムは継続しており、産業界でリーダとなりうる人材育成を引き続き遂行しています。同窓会にはこのリーディングプログラムをはじめ、米国ウィスコンシン大学短期研修



プログラムに対して経済的支援を頂いていましたが、今年度はCOVID-19により困窮する工学部生・院生に対する工学独自の支援制度に対し基金からの寄附並びに「COVID-19困窮OCU工学生支援募金」に対して同窓会の皆様から多大なる支援を頂きました。改めてこの場をお借りしまして深謝申し上げます。コロナ禍により経済状況が一変し経済的に困窮学生が多発する中、研究室活動と並行してのアルバイトが困難であるなど工学生ならではの窮状が浮かびあがり、工学部・工学研究科では在籍する学生への支援策として「経済的な理由により修学を諦めなければならない学生を一人も出さない」の精神のもと制度設計を行い、運営を行っています。支援額は困窮度に応じ1ヶ月3もしくは5万円とし、6月に最初の募集を開始し、7月から11月までの期間において累計78名に総額896万円の給付を行いました。詳細は『申請者数・採択者数の推移』および『支給者数・支給額の推移』をご覧ください。学生たちは、少しずつですが、アルバイト収入を増やしたり、各種財団等の奨学金に応募したりと遅くも適応している状況です。『「COVID-19困窮OCU工学生支援制度」支援募金』へ寄せられた同窓生からの暖かく心強い支援は工学生にとっては学業を継続する上で心強い後ろ盾になっています。改めまして感謝申し上げます。この危機を乗り越え遅くも成長した工学生達が社会のために活躍することを信じ、教員一同鋭意学生達の指導を行ってまいります。今後とも同窓生の皆様にはご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。
(工学研究科長・工学部長)

学科の近況・会員短信

機械工学科（旧機械・旧知材）

機械工学科の近況



工学研究科教授・機械工学科主任
金崎 順一

卒業生の皆様には益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、平素より本学科・専攻に格段のご支援をいただき、感謝申し上げます。

学生の入学ならびに卒業についてご報告いたします。令和2年4月には、機械工学科60名、機械物理系専攻前期博士課程（修士課程）39名の入学生を迎え、新年度をスタートいたしました。卒業生の進路状況につきましては、令和元年度末に49名が機械工学科を卒業、41名が前期博士課程を修了、さらに、令和2年9月に2名が機械工学科を卒業し、様々な分野の企業へと就職いたしました。

次に教員の異動についてご報告いたします。令和2年4月に、本学科の教育・研究に長年ご尽力された吉岡真弥准教授が他大学の教授としてご栄転されました。一方、増田勇人先生が講師として、藤本恵美子先生がクロスアポイントメントを利用した助教

として、熱プロセス工学分野にご着任されました。さらに、10月より、大森健史先生が流体工学分野の准教授に、高井飛鳥先生がクロスアポイントメントを利用して機械力学分野（工学部共通の機械工作室を兼務）の助教にご着任され、新しい教員体制にて日々の教育を推進しております。

昨年度末から続くコロナ禍は、本学の研究・教育活動に大きな影響を及ぼしております。今年度初めにはキャンパスへの入構が制限され、授業の開始が5月後半まで延期されました。現在も原則遠隔にて授業を実施しております。徐々に平穏さを取り戻しつつありますが、今後も教員・学生全員にて厳しい現状を乗り越えていく所存です。皆様には、本学科での研究・教育に対して、今後も倍旧のご懇情を賜りますと幸甚です。末筆ながら、皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

平成7年機械工学科卒

衣川 正芳



私は、平成3年に入学、平成9年に大学院前期博士課程を修了いたしました。

その後、川崎重工業株式会社に入社し、同社明石工場で発電用ガスタービンエンジンの開発・設計を担当しております。

現職に就いて最初に携わったのは新規ガスタービンエンジンの開発でした。当時、弊社最大出力のエンジン開発で様々な面でチャレンジをしており、様々な苦労がありました。開発に求められる各段階をクリアしてようやく試作機初号機の運転にたどり着いたもののその感慨に浸る間もなく、次々と新たな課題が見つかりすぐさまその対策、改良

に取り掛かるという日々でした。

その後も設計担当として、改良や案件の対応などを行ってききましたが、その中でも記憶に残っているのは、某海外案件で試運転に出張した際のことです。そのお客様では我々が納入したガスタービンコージェネレーションシステムでプラント全電力と設備の稼働に必要な蒸気も賄う計画でした。電力事情が良くないこともあり通常は電力会社の系統から切り離されて運用されており、試運転中PCで報告書などを作成している際に、ふと、そこで使っている電気がすべて自らが開発したエンジンが賄っているということに気が付き感慨深いものがありました。

近年頻発する自然災害の報道を見るたびに、生活や企業活動におけるライフラインとして電気の重要性を再認識し、それに携わる一員として日々業務に励んでおります。最後

になりましたが、学生時代お世話になりました先生方、並びに同窓生の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

平成16年機械工学科卒

藤田 聡



この度は近況報告の機会を賜りありがとうございます。また卒業生の皆様におかれましては各方面でご活躍のことと存じます。私は2006年3月までの3年間、機械工学科熱工学研究室にてお世話になりました。前期博士課程修了後に関西電力株式会社に入社し、火力発電事業に係る業務（運転、管理など）を経て、現在は再生可能エネルギー事業の開発検討業務に従事しております。具体的には、新規開発候補地点の調査、事業性の評価、他事業者とのアライアンス機会の創出～事業化検討など、一見技術系の仕事とは思えないような業務も行っています。例えば、プロジェクトファイナンスにより資金調達するケースでは銀行などとの調整の際にこれまで聞いたことの無い用語が飛び交います。内容を理解するにも一苦労ですが、再エネ電源開発のミッションを達成するため日々勉強の毎日です。学生時代は、

過熱水蒸気や高温高湿度空気を利用した乾燥に関する研究を行っていました。実験装置を用いて数多くの乾燥実験を行いデータ採取・整理を繰り返したことで、懐かしく思い出されます。実験条件を上手く再現できなかったりデータが欠測したりとトラブルも多かったですが、成果を出せるよう粘り強く取り組む姿勢はこの学生生活で養われたものであり、社会人になっても生きていけると感じています。今般のコロナ禍で企業・大学のみならずプライベートでも環境が大きく変わってしまいました。研究室時代の友人と会う機会もめっきり減ってしまいましたが、情勢が落ち着いた際には情報交換も兼ねて飲みに行ければと思います。最後になりますが、在学中は先生方や本学関係者の皆様には大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。そして皆様のご健康と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

平成27年機械工学科卒

藤本 誠



この度は近況報告寄贈のご依頼ありがとうございます。私は2017年に機械物理系専攻で前期博士課程を修了後、電気機器メーカーに就職しました。現在入社4年目になります。職場では会社の主要製品の開発及び設計の仕事を担当しています。入社当時は生まれて初めて実家を離れたということもあって、本当に慣れない生活環境に苦労することも多かったですが、いまでは1人前に社会人として自立し、仕事でも成果を発揮できる部分も増えてきたと自負しています。最近、上司との面談で「組織の壁を超え、横断的に連携して活躍できる人材」を成長目標に設定しました。元々人と何かを企画したり、コミュニケーションを取ることが好きですので、その強みを十分に仕事で発揮していきたいと考えています。趣味は学生時代から変わらず、「音楽」と「食」と「人脈形成」です。特に最近、ギターを弾いたり簡単な曲作りをしてみたりという活動を始めました。今さら感はありますが、学生時代数多くの音楽と触れ合ってきた

経験を通じて、自分でも何か作品を作りたいと感じ始めたのです。関西人らしく好物はお好み焼きです。関西から離れてしまった今でもその味が恋しくなり、2ヶ月に1回（たまに月1）で道頓堀周辺の有名なお店に食べに行くこともあるぐらいです。いずれにせよ、昨今はコロナウイルスの影響で今までのように振り切った行動は出来ない状態なのですが、可能な限りの感染対策は徹底しながら、今こそ出来ることに完全燃焼できている毎日だと感じています。

最後になりますが、コロナウイルスの影響で世界が大変な状況にあり、皆様大変ご苦労されているかと存じます。未だこの先見通せずの不安な状態ですが、特に学生時代に大変お世話になりました先生方と、同窓生の皆様にはご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

電子・物理工学科 (旧電気一部・旧応物)

電子・物理工学科の近況



工学研究科教授
電子・物理工学科主任
金 大貴

卒業生の皆様、新型コロナウイルスの影響が続く
中、いかがお過ごしでしょうか。まず、学生の進路
状況について報告いたします。2020年3月に37名
が電子・物理工学科を卒業し、そのうち8名が就職、
4名が他大学大学院に進学、25名が本学大学院に進
学しました。また、大学院では、33名が前期博士課
程（修士課程）を修了し、31名が就職、2名が本学
後期博士課程に進学しました。そして、4月には45
名の新入生を迎えることができました。教員の近況
として、2020年1月からは光機能工学領域に洪田昌
弘特任講師（文部科学省卓越研究員）が着任されま
した。

大阪府立大学との大学統合についてご説明申し上
げます。2022年4月、大阪市立大学と大阪府立大学
を母体に新たな「大阪公立大学（仮称）」が誕生する

予定です（設置認可申請中）。12の多様な学部・学
域、高度な専門性を磨く15の研究科を擁し、学生数
約16,000人の日本最大規模の公立大学です。私たち
電子・物理工学科も大阪府立大学の電子物理工学科
と統合し、「大阪公立大学工学部電子物理工学科」と
して新しい歩みをスタートさせます。電子物理学
の両輪をなす電子物性と電子材料に関する共通の教
育課程を設けるとともに、各学問領域を専門的に修
得する教育課程を個別に設けることにより、電子物
理工学の発展に貢献できる人材を育成することを目
指します。

最後になりますが、卒業生の皆様のますますのご
活躍を祈念いたしますとともに、引き続き本学科、
そして新しい電子物理工学科へのご支援とご鞭撻を
お願い申し上げます。

「遊び三昧」の日々もコロナで…

昭和46年応用物理学科卒

服部 暁彦



リタイアしてからは、仕事人間は卒業し、納税以外では
世の中に何ら貢献することなく、趣味の世界で「遊び三昧」
の生活を送っています。

ゴルフは年間50数回ラウンドしています。回数に腕が比
例しないところが残念ですが、最近は会社（日立）のOB
連中と回るより、それ以外の仲間と回ることが増えました。
ホームコースの21年生まれの仲間と作った「高根21会」、
近所のタイガースファンと作った「すきやねん会」、地元の
「椿山3丁目自治会ゴルフ同好会」等々、しがらみがなく、
楽しいゴルフです。今後は加齢との戦いですが、歩けるう
ちは続けたいと思っています。

合唱はサラリーマンの晩年、常勤監査役をやっていたと
き、あまりに暇なので始めました。今はすっかりのめり込
んで、地元の合唱団「コール・MiLoCa」の団長として頑
張っています。昨年末「創立35周年記念演奏会」を大盛況
で終えることが出来、久しぶりの達成感を味わいました。
当日の演奏は小生設計のホームページ（コール・ミロカで
検索、URL：<http://miloca.main.jp/>）でご覧になってく
ださい。

その他、社交ダンス、Nゲージ、菜園、旅行、麻雀等々、
日々遊びの日程調整に追われておりましたが、コロナで様
相は一変しました。

3月～6月はすべての遊びが中止となり、自粛ストレス
から帯状疱疹にかかってしまいました。しかし最近では、
遊びを徐々に再開しています。ゴルフは終了後のパーティ
や飲み会は出来ませんが、ラウンドは平常状態に戻って
います。合唱はまずパート毎の練習から再開し、10月から人
数を半分に絞って全パート練習を始めました。社交ダンス
と麻雀はまだ再開は怖いですが徐々にWithコロナ時代に順
応していきたいです。妻と仲間と健康に感謝し、遊べるう
ちは遊んで、消費税で世の中に少し貢献？できればと思っ
ています。





黒見 昌行

昭和46年応用物理学科卒

昭和46年に卒業後、一般企業に就職し定年間際になってもう一度物理の勉強がしたくなり、58歳で退職し大学に戻りました。素粒子物理を勉強したいので、同級生の牲川先生（市大理学部物理学科の素粒子物理教授）に相談して始めました。現在は京都大学に通っています。この1年コロナなどの影響で通っていませんが、来年4月から通う予定です。研究テーマは、「質量及び重力」に絞っています。重力は物理学では、古くて新しいテーマです。ニュートン力学は万有引力（重力）から導かれ、アインシュタインの一般相対論は重力理論です。今年のノーベル物理学賞はブラックホールの関連受賞ですが、ブラックホールは重力の影響です。また、重力波の観測は、日本の神岡研究施設（岐阜県飛騨市）や世界数か所で始まっています。私も来年は75才でそう長く続けられないと思いますが、できる限り研究をして、少しでも若い人に引き継ぐ内容を残したいと思っています。

大学は、市大・阪大・京大と15年ほど通っていますので、その中のトピックとして、「南部洋一郎先生 ノーベ

ル物理学賞受賞10周年記念国際シンポジウム」を紹介し

す。開催日 2018年12月12日・13日

開催場所 杉本キャンパス学術情報センター

2日間行われ、内外の一流研究者の講演があり、南部先生は2015年に亡くなり、南部先生のご息様（米国在住）が挨拶に参加されました。外国の研究者（2名）は良くわかりませんが、国内の研究者は超一流で南部先生の偉大性が思われました。その中で、東大の梶田剛章教授（2015年ノーベル物理学賞受賞）（日本学術会議会長）の内容を紹介します。梶田教授は、東大の宇宙線研究所所長で、私が市大在学時の学長であった渡瀬謙先生も宇宙線の研究者ですが、乗鞍山の観測所や四国の別子銅山跡の観測所（両観測所は現在廃止？）の先駆的業績を紹介されました。

最後ですが、私の趣味としては、週2回のテニスと地域の老人サークルのカラオケクラブに週1回女房とコロナ感染防止をして楽しんでいます。



重田 凌

平成31年卒電子・物理工学科

2019年3月に電子物理工学科を卒業し、同年4月より日立造船株式会社に入社しました。東京本社への配属となり、現在は関東圏の都市ごみ焼却施設の電気計装設備保守点検に関する業務を行っています。

今年度は首都圏3工場の担当となり、年次点検（オーバーホール）や機器トラブルの突発対応において、見積・設計・現地工事管理に関わっています。設計した設備や計画した工事が現地で完成していく様子を見られることにやりがいを感じる反面、無事故無災害で工期内に工事を終わらせることへの責任も強く感じています。特に今年は新型コロナの流行に伴い、工事計画の変更や感染予防措置など例年になく対応を取る必要が生じたため、より入念な工事計画を求められました。現時点では、私の担当工事内での事故・災害・コロナ感染は発生していませんが、体調を崩しやすい季節となってまいりましたので、より一層気持ちを引き締めて業務を行っていきたいと考えています。

プライベートは元タインドア派なため、新型コロナ流行の影響は軽微でしたが、食生活が乱れ始めていたため、自炊を始めることにしました。学生時代の調理実習程度しか料理経験がなかったので初めは苦労しましたが、インター

ネットを頼りに少しずつレパートリーを増やしています。特に動画サイトは「百聞は一見に如かず」の言葉通り、より簡単に学ぶことができるので重宝しています。よく料理は下ごしらえが大事と言いますが、現地工事でも事前の計画が最も重要ですので、自分に足りない計画性を養うには一挙両得の趣味だと感じています。

最後になりますが、皆様方のご健康とご多幸を記念し、近況報告とさせていただきます。



電気情報工学科 (旧電気一部・旧情報)

電気情報工学科の近況



工学研究科教授・電気情報工学科主任
阿多 信吾

卒業生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2020年は、新型コロナウイルスによりこれまでにない1年となりそうです。本学では4月からの前期授業はすべて遠隔、一部の実験・実習については7月以降に集中で対面実施など、未経験のできごとの連続ですが、大学での研究教育、そして学生の学びが止まることがないように、学科教員一丸となってこの難局に立ち向かっております。2020年度入学の1年生49名は、入学式中止となり合格以来キャンパスに入ることもできませんでしたが、7月に教員・友達同士と初の対面ガイダンスを行い、ようやく大学生らしさを感じられたようでした。後期からは一部対面授業も導入され、少しずつキャンパスに活気が戻りつつあります。

教員人事についてですが、2020年3月をもって辻本浩章教授、杉山久佳准教授が定年によりご退職、林和則教授が京都大学へとご転出されました。4月から野口博史准教授をお迎えし、スマートセンシング工学分野をご担当いただいております。そして、非常に悲しいお知らせとなりますが、原晋介教授が

8月に不慮の事故により急逝されました。原先生にはこれまで電気情報工学科の牽引役として、また新大学情報学研究科の設立に向けて多大なるご尽力をいただいていたところであり、あまりにも急な訃報に接し、ただただ残念でなりません。原先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

このような激動のなかでも、電気情報工学科は昨今の情報分野へのニーズの高まりもあり、順調に就職が内定しております。

2022年4月にはいよいよ大阪公立大学(仮称)が開学予定ですが、電気情報工学科は、学部では情報工学科、電気電子システム工学科、電子物理工学科、大学院では情報学研究科(基幹情報学専攻、学際情報学専攻)、工学研究科(電気電子系専攻、電子物理系専攻)に分かれて活動することになります。新大学でも大阪市立大学と同様、学生ひとりひとりと向き合った丁寧な研究教育を行っていきたいと考えております。

最後に、卒業生の皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念いたしますと共に、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

世界最上質な塩作りで村の活性化を目指して!

昭和41年電気工学科卒

進藤 博文



約8年前或ることが切っ掛けで人口400人程度の南信州平谷村を知ることになりました。ここは江戸時代岡崎から信州塩尻まで塩を運ぶ三州街道「塩の道」の中継地で栄えていたが、今は典型的な過疎村で高齢化と共に人口も減少の一途を辿っている。それまで塩に関しては無関心だったが、塩は人には一日も欠かせないミネラルで、今の塩は昔の塩に比べ本来必要な各種ミネラル分が欠如していることが分かり、世界の塩の中で最上質な塩を探し始めた。一流シェフが高く評価している塩にバリ島クサンバ塩が有ることが分かり、詳細を調べてみると約80年前旧日本軍がこの地のロンボク海峡を千数百年掛かり地球を巡っている海洋深層水が湧き上がって来ていることを知り、当時日本で行われていた揚げ浜式製塩法を教え、以後現在までそのまま受け継がれている。ただ過酷な労働から後継者が居なくなりつつあり消滅寸前であることが分かった。そこでこの海洋深層水での塩作りを存続させるために個人活動で約3年前から現地に出向き、現在日本の一部の製塩業者も採用している労働力が大幅に軽減される流下式製塩法を現地の景観に馴染む形にして現地の製塩家に引き継ぎ稼働準備段階に入っており、一石を投じる支援活動は終えた。ミネラル

豊富な良い塩の入手が容易になった為、このクサンバ塩を平谷村山麓に流れている清流で一度溶かし平谷村の温室内で再結晶させる。その様にすれば自然環境豊かなこの地のミネラル成分が添加され独自の良い塩が作れることが分析結果からも分かり、今は村と共同で商品化作りに取り掛かっており、村に新たな雇用ができ活性化が図れると思われそれに向かっての活動を開始しています。



電気工学科昭和41年卒同期会

平成20年卒電気工学科

佐藤 広和



卒業生の皆様におかれましては益々ご健勝のことお慶び申し上げます。

2008年3月に電気工学科を卒業し近畿日本鉄道株式会社に入社いたしました。(現在は近鉄グループHDに転籍)それから早12年、寄稿のご依頼を受け、改めて入社以来の歩みを振り返ってみると様々なことが思い出されます。

入社以来私は列車を安全に運行させるために必要な信号や踏切、自動列車停止装置(A T S)などの保安装置に携わる業務を主に担当しております。新型A T Sの設置に関する設計をしたり、メーカーと共同で面検知タイプの踏切障害物検知装置を開発したりと様々な業務に携わってきました。昨年は三重県の南部の職場(東青山駅~賢島までの約60kmが保守エリア)で職場長として約1年間勤務し、30人の所属員と一緒に保安装置の保守や改良に努めました。そのなかで一番の思い出は4月と11月に天皇皇后両陛下が

伊勢への行幸啓の際に近鉄をご利用いただき、無事にお運びできたことです。事前の設備の点検から当日の警戒までを仲間とやり遂げたことはわたしの誇りです。現在は大阪に異動となり、このコロナによる社会様式の変更(リモート勤務の増大など)に伴うお客様の減少を乗り越えるために、「変えるべきもの」と「変えてはいけないもの」を判別しながら日々改善に取り組んでいます。

また、近鉄グループの業務の幅は多岐に渡りますが、グループ各社に先輩・後輩多数の市大出身者が在籍しており、様々な支援を受けるたびに非常に心強く、市大OBのきずなの強さを感じます。今後も社内・社外問わずこのきずなの大切さを業務に励んでまいりたいと思います。

最後になりましたが、皆様の今後のご活躍をお祈り申し上げます。近況報告とさせていただきます。

平成27年情報工学科卒

西島 慎二



2017年3月に電子情報系専攻前期博士課程を修了し、FTTHやMVNOサービスを提供する株式会社ケイ・オペティコム(現・株式会社オプテージ)に入社いたしました。現在は技術開発部にてISP事業のバックボーンネットワークの計画、構築、運用を担当しております。お客さまに快適なインターネット環境を提供するためにネットワークが輻輳しないように、また遅延時間を短縮するために日々業務に従事しております。これらの業務ではネットワークで使用されるプロトコルの知識や海外事業者との折衝におけるコミュニケーション力が必要とされます。プロトコルを含めた通信の基礎については大学での講義、コミュニケーションについては国際会議での発表等、学生の頃の経験を活かすことができる環境で仕事に取り組むことができていることを幸せに感じております。

新型コロナウイルスの影響により外出も控え気味になり、学生の頃からの趣味であるF1も今年は日本GPが中止となり、仕方がないことでありますが、残念に思っております。最近になり、ようやくコロナとの共存する生活に慣れてきたところであり、またこのような困難な時期にあって家族の絆や支え合いの大切さを身に染みて実感致しました。

講義や研究室での活動を通して、厳しくも熱く指導してくださった原晋介先生のご逝去の知らせを8月に受けました。この場を借りて先生に感謝をお伝えするとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

また最後となりましたが、この災禍が一日でも早く終息に向かいますことと、皆様のご健勝と今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。

平成29年電気情報工学科卒

吉田 直樹



2019年3月に電子情報系専攻前期博士課程を修了し、ネットワークシステムズ株式会社に入社いたしました。現在は名古屋を中心に中部地方の行政システムやISPの設計、構築を行うシステムエンジニアとしております。

現在の業務では、大学や研究室で学んだ内容がそのまま仕事で役立っており、新卒2年目ながら数千人が利用する大規模なシステム構築を任されております。

日々新しい技術が登場するため勉強し続ける毎日なのですが、仕事でかかわるようになってはじめて大学で学んだ基礎の大切さがわかったような気がします。

ネットワークの構築は多くの人が関わり、さまざまな機材を組み合わせて一つのシステムを作り上げるため、設計通り動いた時には言葉では言い表せない喜びや達成感があります。一方で、ほんの少しのミスでも多くの人に影響を

与えるトラブルにつながるため、大きな責任と社会インフラを支えるやりがいを感じています。

私生活では、知り合いもほとんどいない見知らぬ土地での初めての一人暮らし、出張つづきの生活で苦労しましたが、慣れてくると名古屋の住みやすさにどっぷりはまってしまう。食べ物だけはなにかと味噌がついてくるので、ときどき大阪の味が恋しくなります。

コロナ禍もあり、同期との集まりや旅行もなかなか難しい世の中ですが、テレワークやリモート会議など、人とのつながりを支えるネットワークの仕事が続けていきたいと思っております。

最後になりましたが、大阪市立大学の先生方および同窓会の皆さまの益々のご活躍を祈念し、近況報告とさせていただきます。

化学バイオ工学科 (旧応化・旧生応化・旧バイオ)

化学バイオ工学科の近況



工学研究科教授・化学バイオ工学科主任教授

辻 幸一

卒業生の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年は、年度初めから新型コロナ感染対策のため、新入生ガイダンス・オリエンテーションが中止、前期講義も遠隔となりました。学科教員も慣れない遠隔講義に加え、学内外の会議がWEBでの開催となり、我々も対応に追われました。在校生の皆さん、特に新入生も不安だったと思いますが、学年相談委員と共にWEBでの面談やメールを通じて学生と連絡を密にしてきました。後期になり、やっと、対面での講義も一部再開となった次第です。

そのような状況下ではありますが、化学バイオ工学科では、教授11名、准教授6名、講師3名(内1名は特任講師)、特任助教2名の、合計で22名の体制で学生への教育及び研究活動に励んでいます。なお、有機工業化学分野の畠中康夫教授は、2020年度末にて定年退職の予定です。長年の本学科での教育

と研究にご尽力いただいたことに感謝申し上げます。

国内外の学会等の講演会がWEBでのオンライン開催となっていますが、本学科からは佐藤絵理子教授のグループによる新規接着材料に関する研究が高分子学会広報委員会パブリシティ賞を受賞、松山嗣史特任助教が第69回デンバー会議にてベストポスター賞を受賞されました。その他にも多くの学生が優秀ポスター賞など受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

卒業・修了予定者の進路ですが、コロナ禍ではありますが、ほぼ100%の学生が内定を頂いています。これも卒業生の皆さんが各企業において活躍され、本学、本学科の評判を高めて頂いている賜物と感謝しています。今後とも皆様の益々のご活躍と祈念いたしますとともに、引き続き、本学科へのご支援とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成18年応用化学科卒

松田 晃典



今年は新型コロナウイルスの影響で世の中に多くの変化が起こった一年となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は2008年に化学生物系専攻前期博士課程を修了し、株式会社堀場製作所に入社しました。弊社は自動車製造業界、半導体製造プロセスなど様々な分野で使用される分析機器の開発・製造を行うメーカーです。現在、私は品質保証部門で工場の品質管理に携わっています。正直、学生時代は想像もしていなかった業務で、入社当時は顧客満足の考え方や品質管理の取り組みなど新しい言葉や知識の習得の連続でした。業務上、製品のトラブル対応に関わることも多く、若手のころは諸先輩方に教えてもらいながら、原因調査や、時には製品の生産を止めないために、開発や生産部隊と一緒に夜遅くまでスクリーニング作業をするなど目の前のことを必死にこなしていた光景を今でも鮮明に覚えています。その後、京都本社工場から九州の工場への製品移管やびわ

こ新工場建設など重要なプロジェクトへ部署代表として担当させてもらい、製品の研究・開発とは違った立場で、ものづくりへの参画に充実した日々を過ごすことができおります。

現在では、1つのチームを任され、10名ほどの部下を持つようになりました。今までのように自ら考え行動するプレイヤー業務だけではなく、部下の育成、業務をマネジメントすることも求められ、人を動かすことの難しさを感じながら業務を行っています。慣れない業務の連続で、新入社員のときと同じように目の前のことを必死に楽しみながら、日々取り組んでいます。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

平成25年化学生物系後期博士課程修了

中澤 隆



皆さんこんにちは。2013年に化学生物系専攻博士課程を修了しました中澤です。私が大阪市立大学大学院を修了してからもう7年が経ちました。在学中の思い出から近況までをお伝えしたいと思います。

大学院在学中は辻教授のご指導のもと、微小部の非破壊元素分析が三次元でできる装置開発及びその応用に取り組みました。装置の設計から組み立て、測定、結果の解析を行い、研究成果を学術論文として発表するという一連の流れを教わりました。論文の中で”top of the world”の一文を入れられたことが特に印象深く残っています。博士課程の中で培った、ものの考え方や伝え方は、今の仕事に大変役に立っています。大学院修了後はご縁があって中央大学理工学部応用化学科の助教として採用され、環境化学の分野で微量元素分析の研究に携わりました。プラズマ中の元素挙動の解明から大気中の浮遊粒子状物質のリアルタイムモニタリング手法の開発など、プラズマ分光分析の基礎から応用まで深くかわかり、朝から晩まで研究室にこもる生活をしていました。一方、私生活では生涯を共にする伴

侶と出会い、ワーク・ライフ・バランスを考えさせられました。そして、結婚を機に民間企業への転職を決心しました。いわゆる外資系と呼ばれる理化学機器メーカーでサイエンティストとして職を得ました。大学で行ってきた基礎研究ではなく、現場に即した分析・研究に触れ、最初は戸惑いも感じましたが、今までの経験を活かして日々仕事に精を出しています。家庭では子供に恵まれ、親としての責任が芽生えました。子供とお風呂に入りコミュニケーションを取ることが日課となっています。

原稿執筆時は大阪都構想の住民投票の結果が開示され、大阪市の存続が決まりました。一方、大阪市立大学は大阪府立大学と統合され、大阪公立大学が設立される予定ですね。ますます発展していく母校がどうなってゆくか、子供の成長とともに見守っていきたいと思います。

最後にはなりますが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

平成29年化学バイオ工学科卒

澤岬 佳菜代



ご無沙汰しております。

在学中幾度となくいただいた博士課程へのお誘いを振り切って社会人となり1年半が経ちました。修士課程を終えて私は日東電工株式会社に入社し、現在はスマートフォンに搭載されるような回路基板材料の開発に携わっております。

私が業務で扱っている材料はまだ市場に出ていない新製品であり、上市に向けて実験や試作、社外メーカーさんとのやりとり等に追われる毎日です。直近は海外のお客様向けのサンプル試作を一人で回しており、自分の手で製品を作り上げる喜びを実感しています。これまでの検討で得た様々な組成だったり、作製条件だったり、処理条件だったりというものが集約されて一つの“モノ”として出来上がっていくことが大変面白くやりがいを感じます。メーカーで仕事をする醍醐味ですね。（「モノ」を作りたい」というのが私の就職活動時のキーワードであり、博士課程進学では

なく就職を選んだ理由の一つでした。）

当然ながら実験も試作も上手くいかないことは多く、苦しい思いをすることもあります。そういうとき、会社からの帰り道などにふと研究室のことを思い出して「先生ならなんと仰るだろうか？」と考えます。当時は実験に行き詰まっては太郎先生や中西先生にご相談に伺っておりました。先生方の豊富な知識と経験をもとに出されるアドバイスそのものもそうですが、穏やかであたたかな人柄に触れてこそ私は前向きに努力を続けることができていました。私もいつか会社で逆の立場に立ちたいと願いつつ、そのためにも知識も技術も人格ももっともっと磨いていかなければと思う次第です。

最後になりますが、皆様のご健勝とより一層のご活躍を心より祈念し、ここで筆を置かせていただきます。

建築学科 (旧建築・旧環都一部)

建築学科の近況



工学研究科教授・建築学科主任

梅宮 典子

同窓会の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。建築学科では学科同窓会のご協力のもと、毎年秋に「職業ガイダンス」を開催しております。各分野でご活躍の各年代のOBOGの皆さまに、学生に向けて仕事の苦勞ややりがいについて語っていただき、職業人生がイメージできると好評です。この4月には4回生がゼネコンに4人、住宅メーカーに3人、不動産に2人、官庁に1人、院生がゼネコンに7人、設計事務所に7人、鉄道会社に3人、官庁に1人就職しました。今年度も、コロナ禍のもとでも順調に内定がでていと聞いております。大学と社会をつなぐ皆さまの日頃のご支援に、心より感謝申し上げます次第です。

さて学生の対外的な活躍としては、4回生駒崎嶺、高梨和也、田中佑弥、都瑠南々帆、橋戸真治郎とM1 鷲岡賢司各氏のグループ（建築計画+都市計画研究室）がWELLNESS LIFESTYLE学生アイデアコ

ンペティションに入賞、4回生田中佑弥、橋戸真治郎とM1 鷲岡賢司各氏のグループ（都市計画研究室）が第10回アーバンデザイン甲子園で金賞を獲得しています。またM1 富田実加氏（建築環境研究室）が第10回アジア照明学会で Student Best Paper Awardを、中村良平氏（建築防災研究室・大成建設）が博士後期在籍中の業績により2019年度日本風工学会学会賞論文賞と2020年日本建築学会奨励賞を受賞しています。

教員の異動としては、3月に横山俊祐教授とガヴァンスキ江梨准教授が退職して寂しくなりましたが、4月に徳尾野徹准教授が教授に昇任し、「建築ストック再生の計画・設計技術の開発」が専門の西野雄一郎講師が着任しました。学科では今後も教員の若返りが続く予定です。若い力に期待いただくとともに一層のご支援ご鞭撻を、よろしくお願い申し上げます。

平成8年建築学科卒

千代松 寛



学部から修士課程まで6年間市大で過ごし、1998年に電源開発株式会社に入社し20年以上になりました。勤務地は入社当初は東京銀座でしたが、その後は香川高松の四国支社で本州四国連系線工事に数年、東京勤務を挟んでアメリカシカゴ駐在を含む国際事業に10余年、その後、広島瀬戸内海の離島の最新石炭火力発電所建設に数年を経て、現在、東京銀座勤務に戻りまして、全国にある当社の発電設備の管理や、国内外の新規プロジェクトの建設に係る計画を担当しております。

会社は一般には聞きなじみのない社名かと思いますが、電力会社です。皆さんご存知の電力会社との大きな違いは配電部門が無い事で、一般の方々には電力を販売しておらず、皆さんおなじみの電力会社に電気を販売しています。なので、国内のみならず海外にも火力やら水力やら風力やら

の発電所がある関係で、これまでの20余年の会社生活では国内外に転勤を繰り返してきましたが、現在は東京銀座の本社に勤務し、家族と千葉県に住んでおります。

近々の仕事では、弊社の設備が昨年台風の被害を受けたのをきっかけに、被害状況の調査と、他地点への予防策の検討を兼ねまして、調査研究プロジェクトを立ち上げました。その検討には市大の防災研にご協力をお願いし、弊社の発電所建屋の模型を使っての風洞実験を行っていただいております。

本年度はこの研究に絡めて、何度か母校を訪問する予定でしたが、あいにくのコロナ禍の影響もあり、行けずじまいとなっています。何とか折り合いをつけて、今年度中にはあの懐かしの実験棟を訪ねる事、楽しみにしております。

都市学科（旧土木・旧都基・旧環都）

都市学科の近況



工学研究科教授・都市学科主任

大島 昭彦

卒業生の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より都市学科への種々のご支援を頂き、厚くお礼申し上げます。

2019年度学部卒業生59名の進路は、約63%の37名が大学院前期博士課程に進学、残り22名が社会人となりました。就職先は、公務員が11名、民間会社が11名（ゼネコン2、コンサル2、環境系メーカー4、不動産2、その他1）です。同じく2019年度大学院前期博士課程修了生32名の就職先は、公務員が6名、民間企業26名（ゼネコン4、コンサル5、インフラ系9、メーカー6、その他2）となりました。最近、鉄道、道路、電力、空港などのインフラ系に行く学生が多い傾向が続いていますが、ゼネコン希望者が少ないのがやや心配の種です。また、2019年度は大阪市7名というのも特徴でした。一方で、2020年4月には学部54名の新入生を迎えることができました

教員の異動は、2020年4月に蕭閑偉（しょうこうじ）講師が准教授に昇任されました。また、林巖（はやしげん）先生が助教として橋梁工学研究室に着任されました。29才という若手教員で、今後の活躍が期待されます。さらに、重松教授が学生担当部長、貫上教授が工学研究科副研究科長の重責を担われ、引き続き本学および工学研究科の学務および管理運営にご尽力いただくことになりました。

今回の新型コロナウイルス感染はまさに「歴史的な事件」と言ってよいでしょう。この影響はかなり長期戦になると思われそうですが、今後の大学統合、2025年大阪万博を控え、この歴史的なピンチをチャンスに変えることを考えていきたいと思っています。

今後とも、卒業生の皆様には都市学科への忌憚のないご指導、ご助言をいただくとともに、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

昭和50年土木工学科卒

島崎 良雄



長寿化が進み、「人生100年時代」と言われるようになりました。従来は、学校に通って教育を受け、就職して定年まで働き、引退後はのんびり過ごすという3ステージの生き方が主流でした。しかし、100年人生では、3ステージに代わりマルチステージが主流になるそうです。一人ひとりが違った働き方を見出し、人生のイベントの順序もそれぞれ違い、自分にとって理想的な人生を追い求めていくこととなります。古希を迎える年齢になり、新たなステージは限られていますが、この時期を生きる知恵として教えてもらった3つの「ショック」を実践しています。

一つ目の「食」は言うまでもなく食べることですが、二つ目の「職」は働くことです。縁あって2年ほど前から、大津にある設計コンサルタントに籍を置いています。大津駅から歩いて通う途中、氏神の天孫神社にお参りし、すぐ近くの実家

に立ち寄ります。橋梁の補修、補強や撤去など、経験したことのない業務に関われることもそうですが、週1回の出勤で年老いた両親の安否を気遣えるのもありがたいと思っています。

三つ目の「触」はコミュニケーションです。社内外でご縁のあった方や、気の合う大学の同級生たちと交流を続けています。第1木曜日に難波の貸会議室で行う「一木会」は、持ち回りで提供される話題を肴に、飲みながら意見交換する「おじさん達の井戸端会議」です。尾鷲市の南端に位置する梶賀町に中古住宅を購入して、定期的に訪れる2地域居住という新しいステージでは、地元の方や移住者たちとの交流も始まりました。デジタルな触れ合いとしては、リタイア後にブログ (<http://softbridge.net>) を始めました。これからも新しいステージでの出来事を記録していきたいと思っています。

海外コンサルタント業務に従事して

昭和53年土木工学科卒

柚木 裕二



私は卒業後、東京のコンサルタント会社に就職しました。もう40年も前のこととなります。入社後10年余りは専門としていた地盤工学の知識を買われ、国内事業の現場調査や室内土質試験などの仕事をしました。その後希望して海外事業部へ移り、海外での水資源開発事業に携わるようになりました。以来約30年間、アジア、アフリカを中心に海外プロジェクトの仕事に携わってきました。現在はケニアで実施中のダム灌漑プロジェクトで詳細設計及び工事監理の仕事をしています。

海外コンサルタント業務は、プロジェクトの誕生から完成までのすべてに関わることが出来るのが醍醐味と言えますが、実際は大変地味で地道な仕事です。また、異なる国の人達との共同作業ですので苦勞も多いです。政情不安の中で仕事を続行することもあります。それでも現地の政府

や技術者と苦勞を共にしながらプロジェクトを完成させた時の感激は他では味わえないものだと思います。

海外ではどうしても自分が日本人であるということを意識せざるを得ません。日本についての知識を深め、胸を張って自分は日本人だという誇りをしっかりと持つことで、時間はかかっても他国の人達と相互に尊敬し合うことができ、良い人間関係が築けたと思っています。

日本人は議論が苦手とよく言われますが、私の場合は学生時代に研究室のメンバーと日々激論を戦わせて鍛えられ、その経験がプロジェクトの運営に大いに役立ちました。当時の研究室のみなさん、ほんとうに感謝しています。

健康第一とはいえ、最近思わぬことで入院治療することがあり、そろそろ引退かなと思っています。引退後のことを考えねばと思う今日この頃です。

平成14年土木工学科卒

村田 淳



同窓生の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

大学を卒業し19年が経とうとしています。しばらく同窓会とは疎遠となっておりますが、今回同窓会への寄稿の機会を頂き大学時代を懐かしく思い返しました。

私は卒業後、建設会社に入社し、高架橋や海底トンネル工事の施工に従事し、その後は一般設計から原子力設計など広く携わってきました。現在は数年前に地元大阪に戻り、関西圏のインフラ整備事業に様々な形で関与しています。設計や施工には、知識・経験に終わりがなく、いつまでたっても実力不足を痛感する日々で毎日が勉強という感じですが、関西をより発展させたいとの気持ちと自身の更なる成長を目指して仕事に取り組んでいます。

さてここ数年、仕事に忙殺される中でも、少しずつ成長できているようで、仕事以外のことを考える余裕ができるようになってきました。今の生活だと何か物足りないな。と感じ、何か楽しくて刺激があるものを探そうになり、行きついた先は釣りでした。今は頻繁に休みの日は夜明け前に早起きをしてせっせと釣行です。ときどき家族もついてくるので、息抜きの趣味が家族サービスにもなっており一石二鳥です。またこれから冬なので体が動く限りはボードに行きます。最近は新型コロナで働き方も大きく変わりましたが、よりよく働くためにより良い休息を。をモットーにこれからも仕事もプライベートも楽しくやっていきたいと思っています。最後になりましたが、皆様の一層のご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げます。



工学研究科・工学部の研究分野一覧

専攻名	学科名	分野名	教員名	専攻名	学科名	分野名	教員名	専攻名	学科名	分野名	教員名
機械物理系	機械工学科	環境熱工学	西村 伸也	電子・物理工学科			中山 正昭	建築学科		建築構造学	谷口 与史也
		熱プロセス工学	伊與田 浩志			光機能工学	金 大貴			建築防災及び風工学	谷口 徹郎
			増田 勇人				竹内 日出雄			建築材料学	鈴木 裕介
		流体工学	加藤 健司				渋田 昌弘				梅宮 典子
			脇本 辰郎			数理工学	寺井 章			建築環境	岸本 嘉彦
		機械力学	大森 健史				杉田 步			建築デザイン	宮本 佳明
			川合 忠雄			表面機能工学	小林 中			建築史	倉方 俊輔
		生態計測工学	今津 篤志				福田 常男				徳尾野 徹
		材料数理工学	佐伯 壮一			パワーエレクトロニクス	武智 誠次			建築計画及び建築構法	石山 央樹
		動力システム工学	山崎 友裕				梁 剣波				西野 雄一郎
	ロボット工学	大島 信生		重川 直輝	構造及びコンクリート工学	鬼頭 宏明					
	生産加工工学	瀧山 武		白藤 立		角掛 久雄					
	材料物性工学	横川 善之	プラズマ工学	呉 準席	橋梁工学・鋼構造	山口 隆司					
	材料知能工学	逢坂 勝彦		村治 雅文		林 巖					
	材料機能工学	中谷 隼人	光電子工学	宮崎 大介	地盤工学	大島 昭彦					
		兼子 佳久	スマートセンシング工学	野口 博史		山田 卓					
		内田 真	スマートエネルギー工学	辻本 浩章	河海工学	重松 孝昌					
		山田 裕介	システム制御工学	仕幸 栄治		中條 壮大					
	化学バイオ工学科	無期工業化学	有吉 欽吾	情報システム工学	高橋 秀也	都市系	都市学科	地域環境計画	西岡 真稔		
			田部 博康	情報処理工学	吉本 佳世			環境水域工学	鍋島 美奈子		
工業物理化学			辻 幸一	情報ネットワーク工学	岡 育生				相馬 明郎		
有機工業化学			松山 嗣史	情報通信工学	辻岡 哲夫				遠藤 徹		
			島中 康夫	マルチメディア工学	阿多 信吾			都市リサイクル工学	貫上 佳則		
高分子化学		南 達哉	分散システム工学	安倍 広多				水谷 聡			
		堀邊 英夫	情報基盤工学	石橋 勇人	都市計画			嘉名 光市			
材料化学		佐藤 絵理子	知識情報処理工学	大西 克実				蕭 閔偉			
反応化学工学		小島 誠也	知識情報処理工学	村上 晴美	都市基盤計画			内田 敬			
生物化学工学		北川 大地	空間情報システム工学	永田 好克				吉田 長裕			
生体機能工学		米谷 紀嗣	応用数学	吉田 大介				ベンガテッシュラガワ			
		五十嵐 幸一	工学部共通	松岡 千博	空間情報学			米澤 剛			
生体材料工学		長崎 健	機械工作室	小林 祐貴							
		東 秀紀		(川合 忠雄)							
生物分子工学		北村 昌也									
細胞工学	中西 猛										
創薬生命工学	東 雅之										
生体材料工学	尾島 由紘										
複合先端研究機構	立花 太郎										
	伊原 寛一郎										
	立花 亮										
	吉田 朋子										

2020年工学部卒業生〔就職・進学先〕

機械工学科 (株)SCREENホールディングス (株)オービック (株)ザ・ワークスホールディングス グローリー(株) ダイハツ工業(株) 関西電力(株) 三井E&S造船(株) 三菱電機(株) 全日本空輸(株) 本学大学院前期博士課程進学 34名	神戸大学大学院進学 奈良先端科学技術大学院大学進学 本学大学院前期博士課程進学 18名	本学大学院前期博士課程進学 11名
電子・物理工学科 (株)シノプス (株)デンソー (株)リアライブ 江崎グリコ(株) 宝塚市 大阪大学大学院進学 大阪府立大学大学院進学 名古屋大学大学院進学 本学大学院前期博士課程進学 24名	化学バイオ工学科 (株)スズキ (株)ニチソウテック (株)メディック 京都大学大学院進学 大阪大学大学院進学 大阪大学大学院薬学研究科進学 奈良先端科学技術大学院大学進学 本学大学院前期博士課程進学 46名	都市学科 (株)ウィル (株)ダイキンアプライドシステムズ (株)タクマ (株)プランテック (株)近畿地域づくりセンター (株)鴻池組 (株)大林組 モラブ阪神工業(株) 甲南ユーティリティ(株) 大林新星和不動産(株) 八千代エンジニアリング(株) 国土交通省近畿地方整備局 河内長野市 京都市 堺市 神戸市 大阪市 奈良県 和歌山県 東京工業大学環境社会理工学院進学 本学大学院前期博士課程進学 35名
電気情報工学科・情報工学科 (株)NTTファシリティーズ関西 (株)コナミアミューズメント (株)日立システムズ スズキ(株)	建築学科 (株)カチタス (株)大林組 (株)中島工務店 タカラスタンダード(株) ハートフルホーム福山(株) 旭化成ホームズ(株) 阪急阪神不動産(株) 住友不動産(株) 積水ハウス(株) 大成建設(株) 不二熟学サービス(株) 福岡市 東京大学大学院進学	※掲載拒否除く

2020年大学院工学研究科修了生〔就職・進学先〕

【前期博士課程】		
機械物理系専攻 (株)SCREENファインテックソリューションズ (株)クボタ (株)ダイフク (株)デンソー (株)技研製作所 (株)栗本鐵工所 (株)神戸製鋼所 Sky(株) オークマ(株) ソニー(株) ダイキン工業(株) ダイハツ工業(株) トヨタ自動車(株) パナソニック(株) ファナック(株) 岩谷産業(株) 近畿車輛(株) 三菱ケミカル(株) 三菱重工業(株) 三菱電機(株) 住友重機械工業(株) 住友電装(株) 川崎重工業(株) 大阪市高速電気軌道(株) 中外炉工業(株) 東京電力ホールディングス(株) 日産自動車(株) 日本精工(株) 日本電産(株) 日本電信電話(株) 富士電機(株) 本田技研工業(株) 自営業	(株)デンソー (株)ニッセイ・ニュークリエーション (株)三社電機製作所 (株)村田製作所 (株)日立ソリューションズ (株)日立製作所 キヤノン(株) ダイキン工業(株) トヨタ自動車(株) パナソニック(株) プラザー工業(株) ミネベアミツミ(株) 旭化成(株) 関西電力送配電(株) 京セラ(株) 近鉄グループホールディングス(株) 三菱マテリアル(株) 寺崎電気産業(株) 住友電気工業(株) 住友電装(株) 帝人(株) 南海電気鉄道(株) 日立造船(株) 富士通(株) 北陽電機(株) 本田技研工業(株) 本学大学院後期博士課程進学 2名	TOYO TIRE(株) イビデン(株) サラヤ(株) ダイキン工業(株) タマノイ酢(株) フジッコ(株) マクセル(株) 古河電気工業(株) 阪本薬品工業(株) 三栄エフ・エフ・アイ(株) 三洋化成工業(株) 山陽特殊製鋼(株) 住友ゴム工業(株) 住友精化(株) 住友電気工業(株) 松本油脂製薬(株) 東レ(株) 東洋紡(株) 日産化学(株) 日本ペイントホールディングス(株) 岡山市 大阪市立大学大学院後期博士課程へ進学 1名
電子情報系専攻 (株)クボタ (株)ソフト99コーポレーション (株)ダイヘン	化学生物系専攻 (株)J-オイルミルズ (株)コーセー (株)ナリス化粧品 (株)栗本鐵工所 (株)三菱ケミカルホールディングス (株)村田製作所 (株)日本化学工業所 (株)日本触媒 JCRファーマ(株) JSR(株)	都市系専攻 (株)ADKホールディングス (株)NJS (株)デンロコーポレーション (株)ニュージェック (株)ビーネックステックノロジーズ (株)プランテック (株)安井建築設計事務所 (株)建設技術研究所 (株)昭和設計 (株)神鋼環境ソリューション (株)大林組 (株)竹中工務店 (株)東畑建築事務所 (株)日水コン (株)満田衛資構造計画研究所
		(株)銭高組 (株)都市再生機構 ESRIジャパン(株) NTT都市開発(株) ジェイアール西日本コンサルタンツ(株) 関西エアポート(株) 関西電力(株) 岩谷瓦斯(株) 栗田工業(株) 高砂熟学工業(株) 高田機工(株) 阪急阪神ホールディングス(株) 阪神高速道路(株) 鹿島建設(株) 信和建設(株) 西日本高速道路(株) 西日本旅客鉄道(株) 大成建設(株) 東西建築サービス(株) 南海電気鉄道(株) 日本工営(株) 日本郵政(株) 大阪市 津市 東京都 中国
		【後期博士課程】 化学生物系専攻 (株)京都市産業技術研究所 DIC(株) 堺化学工業(株)
		都市系専攻 (株)駒井ハルテック 大阪府 東大阪市

※掲載拒否除く

★ 住所・勤務先の変更は速やかに連絡して下さい

同窓会HP：<http://kougakubu.osaka-cu.net/> の連絡先変更依頼フォーム
 E-mail：dousoukai@eng.osaka-cu.ac.jp
 Fax：06-6605-2769 にてお願いします。

新型コロナウイルス感染症拡大による 困窮学生の支援について

会長 宇野勝久（建築・昭和49年卒）

今年3月下旬より、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が拡大し、国や府から外出や外食などを自粛するよう強い要請が出されました。そのため、アルバイトをなくし、あるいは家族の収入が激減するなど生活が困窮する学生が増え、退学を考える程度にまで追い込まれる学生も出てきました。大学や工学部・工学研究科は、このような困窮学生を支援するための制度を設け、教育後援会、各学部同窓会、卒業生に資金援助を求められました。工学部同窓会理事会は、これらの要請に応えるため、特別基金を取り崩して高額の寄付を行い、また、募金活動も行いました。これらは本来なら評議員会の了承を得て行うべきものですが、緊急を要することでもあり、理事会判断で実施しました。以下に、詳しく報告しますので、会員の皆様にはご了承くださいるようお願いいたします。

（1）大学に500万円を寄付

5月11日、大学は「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活に困窮する学生のための緊急支援給付金制度」を立ち上げました。これを受けて、5月19日から25日にかけて臨時理事会（メール審議）を開催し、理事38名中25名参画のもと、参画理事全員一致で特別基金を取り崩して500万円を大学に寄付することを決定しました。そして、5月25日、大学の学生支援資金の受付窓口である「夢基金」に500万円を入金しました。これについては、5月25日に工学部同窓会ホームページ（以下、HP）で報告しました。

なお、上記「緊急支援給付金制度」には全学から日本人学生1506人、留学生186人が申請。内、工学部・工学研究科の学生・大学院生325人、同留学生27人が、5月29日に5万円を支給されました。

（2）工学部・工学研究科に300万円を寄付

工学部・工学研究科は、6月中旬に学部生・大学院生（留学生を含む。以下、工学生）にアンケート調査を行って工学生の経済的困窮状態を把握し、「COVID-19困窮OCU工学生支援制度」（以下、「困窮工学生支援制度」）を7月上旬に発足させました。「困窮工学生支援制度」は、COVID-19の影響により家計が困窮し、修学の継続が困難になっている学生を対象

に、給付額は最大5万円/月とし、最長で6ヶ月給付するというものです。50～100名の学生が申請すると予想し、工学研究科が所有する運用可能な資金では足りず、同窓会に資金援助を求められました。

これを受けて7月15日の定例理事会で「困窮工学生支援制度」への支援について審議し、①特別基金を取り崩して工学研究科に300万円を寄付する、②資金援助のために募金活動を行う、ことを決定しました（議事録は7月29日にHPに掲載）。この決定に従い、8月24日に工学研究科に300万円を寄付しました。

（3）「困窮工学生支援制度」支援募金

2009年9月に実施した「大阪市立大学工学部同窓会設立50周年記念募金」は同年2月の評議員会の承認を得て行われましたが、今回の「『COVID-19困窮OCU工学生支援制度』支援募金」は緊急性を有するため、理事会決定のみで実施しました。「工学研究科長兼工学部長 長崎健先生の『支援のお願い』」、「同窓会長の『寄付のお願い』」、「『困窮工学生支援制度』の概要」、「支援募金の要領」、「振込用紙」を同封して約1,800名の方に郵送・配布しました。募金期間は2020年7月28日から同年12月31日までとし、募金単位は一口5,000円、できれば2口以上でお願いしました。1,800名の内訳は、理事の学部卒業時のクラスメート、連絡先の分かっている元工学部の先生、2009年実施の募金に協力してくださった卒業生を中心に郵送し、現職の工学部の先生方には学部のレターケースに配布しました。「お願い状」などのコピーから郵送・配布まですべて理事の手作業で行いました。

本来なら一万人を超える同窓会員全員に郵送すべきではありませんが、業者委託による印刷・発送には時間とコストがかかるため、理事の手作業で可能な範囲で行いました。会員の皆様には募金の緊急性をご理解くださり、ご了承くださいるようお願いいたします。

10月31日までに協力いただいた方のお名前と寄付口数は後段に掲載していますが、1,321.2口、6,606千円の寄付が集まっています。厚く御礼申し上げます。なお、11月1日以降12月31日までに寄付をしていただいた方のお名前と口数は来年の「同窓会だより」に掲載いたします。

(4) 工学部・工学研究科に600万円を寄付

9月16日の定例理事会において、その日までにご寄付いただいた寄付金の中から600万円を工学研究科に寄付し、残りは募金期間終了後に寄付することを決定しました（議事録は9月23日にHP掲載）。この決定を受けて、10月13日に600万円を工学研究科に寄付しました。

以上、(1)～(4)を会員の皆様にご報告申し上げます、ご了承をお願いする次第です。

(5) 「困窮工学生支援制度」支援のための寄付のお願い

新型コロナウイルス感染症は終息するどころか、第

3波、第4波が到来すると予想されています。前述しましたように、「困窮工学生支援制度」支援募金は約1800名の方への送付・配布に止まっており、また、工学研究科への寄付金額も今のところ十分なものではありません。会員の皆様の中で「困窮工学生支援制度」支援のためにご寄附をしていただける方は、本「同窓会だより」に挟み込みの「払込取扱票」の「COVID-19 困窮OCU工学生支援制度」支援に✓を入れていただき、2011年1月31日までにご送金いただくようお願いいたします。金額は一口5,000円、できれば2口以上をお願いしますが、1口未満でも結構です。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

募金にご協力いただいた方々 (2020年10月31日現在、343名、1,321.2口、6,606千円)

括弧内は出身学科、卒業年。Sは昭和、Hは平成。都は都島工専。括弧書きの無い方は他大学出身。太い数字は寄付口数。

現教員

伊原寛一郎	1	内田 敬	6	大島昭彦 (土S55)	2	金崎順一	2
川合忠雄	10	呉 準席	6	佐藤絵理子 (化H12)	20	重川直輝	2
重松孝昌 (土S61)	10	白藤 立	4	高橋秀也	2	田窪朋仁	2
谷口徹郎 (建S59)	10	谷口与史也 (建S58)	2	田部博康	1	徳尾野 徹 (建S61)	10
長崎 健	10	中條壯大 (環H17)	4	中山正昭	2	西岡真稔	6
西野雄一郎	6	吉田長裕 (土H7)	2	吉本佳世	4	脇本辰郎 (機H3)	4
V. RAGHAVAN	3						

元教員

會田田人	4	青木修三 (化修S36)	6	東 恒雄 (機S41)	6	井上英夫	4
大島豊平 (土S53)	2	大嶋 寛 (化S49)	10	岡本次郎 (電修S39)	2	小田一紀 (土S38)	2
坂 壽二 (建S42)	2	志水英二	10	杉山茂一	4	高田直俊 (土S39)	2
辰巳昭治	2	谷 俊寛 (土S49)	1	辻本浩章	2	東田 淳 (土修S47)	2
中尾正喜	2	布部 誠 (機修S52)	2	橋本 敏	2	日野泰雄 (土S59)	2
細田 誠	2	三浦洋三 (化S42)	4	南 繁行 (電S45)	20	向井孝彰	20
望月秋利 (土S42)	1	山内 清 (化S41)	4	山田文一郎 (化修S40)	4	山田 優 (土S40)	2
山本修章 (土S47)	1	矢持 進	2				

卒業生 (現・元教員を除く)

青木樹志 (機H3)	2	青砥正典 (土H3)	0.2	赤坂博之 (建S58)	2	秋岡武男 (建S36)	2
秋田淳司 (機H5)	2	浅井真一 (土S48)	2	朝倉英雄 (建S40)	2	浅原浩介 (物S38)	2
天野 隆 (建S59)	2	顕谷友博 (建S32)	2	栗根克昶 (物S35)	2	筏 弘次 (機S31)	2
池澤安夫 (建S35)	2	池田恵次 (建S41)	2	池田浩一 (土S50)	2	池田博英 (機S53)	10
石尾年光 (土S50)	2	石桁正士 (電修S38)	2	石崎省吾 (化S55)	2	磯部貞夫 (化S35)	2
板倉啓祐 (化修S42)	2	伊藤 忠 (土S46)	2	伊藤 誠 (土S54)	2	井上彰夫 (電S62)	2
井上 保 (都土S26)	6	井上 肇 (物S54)	2	井上光生 (生H6)	2	井上康郎 (物S36)	2
伊庭 力 (建S44)	2	岩田賢造 (機S34)	2	岩田真知 (土H5)	2	植杉輝夫 (電S51)	2
上田 進 (土S53)	2	上野英雄 (機S41)	2	上向井照彦 (機博S57)	2	鵜飼猛雄 (電S45)	2
宇野勝久 (建S49)	4	梅田逸樹 (化S45)	2	梅谷光男 (建S38)	2	榎本剛一 (化S42)	1
大井健一郎 (土S53)	2	大久保高秀 (機S51)	10	大嶋政夫 (土S53)	2	大路宗義 (建S42)	2
大塚忠弘 (機S42)	2	大塚義郎 (建S42)	2	大坪崇彦 (土S41)	2	大歳 勲 (土S40)	1
大西 正 (建S35)	2	大西道憲 (機S43)	2	大西康雄 (機S48)	2	大山基欽 (化S48)	10
岡田君仁 (化S46)	2	岡田 正 (物S38)	2	岡本 豊 (電S41)	2	岡山保美 (物S48)	1
奥中 均 (建S58)	2	奥野 勝 (化S42)	4	落合 隆 (土S61)	2	寛 文夫 (物S47)	2

笠木利勝 (土S42)	2	笹部和成 (電S50)	10	片山 博 (機S50)	2	勝田守文 (土S58)	6
金子厚男 (機S31)	2	鎌田雅弘 (建S49)	20	神島敬介 (機S41)	2	紙西孝彦 (建S49)	2
河合和二郎 (化S28)	2	川口和也 (土S55)	4	川口 登 (建S55)	2	川本克晃 (電S32)	2
岸本好弘 (土S40)	2	北浦照雄 (機S38)	2	北野 勝 (物S44)	4	北林 進 (物S32)	2
木下 明 (建S46)	2	木村 智 (機S1)	2	木村敏男 (化S48)	2	木村文則 (建S56)	2
木村正昭 (機S59)	2	木村政雄 (化S37)	2	木村雅之 (電S51)	2	京極幸夫 (化S34)	2
草野靖夫 (電S41)	2	熊田哲夫 (電S35)	2	栗林 饒 (電S41)	2	栗政幸一 (電S31)	2
栗本晶夫 (機S49)	2	黒岩大也 (土H5)	2	黒山泰弘 (土S50)	2	桑原利行 (物S36)	6
小池弘史 (物S45)	2	小出 哲 (電S41)	2	児島健志 (化S37)	2	小林弘一 (物S34)	6
小林一三 (土S58)	1	近藤信勝 (機S29)	10	斎藤壽士 (物S44)	4	佐伯 讓 (土S40)	2
酒井洋一郎 (化S35)	2	神原敏弘 (土S61)	2	阪口鉄兵 (機S38)	4	坂口三代治 (土S54)	2
阪田洋一 (土H5)	2	坂根正弘 (機S38)	100	坂本圭造 (機S41)	2	阪本 浩 (化S43)	2
櫻井 正 (物S45)	2	桜井正明 (化S48)	2	笹部昌純 (化S43)	2	笹部良信 (電S29)	1
佐藤紘二 (物S38)	20	佐藤 孝 (電S35)	2	佐藤 勤 (物S35)	40	塩飽 弘 (電S36)	2
塩見幸雄 (物S37)	2	四方時夫 (電S40)	6	下谷毅夫 (物S37)	2	志野太一 (物S40)	2
芝 完次 (機S41)	6	柴田重治 (機S37)	2	柴田卓詞 (土S58)	2	島崎良雄 (土S50)	2
島田雅彦 (土S55)	2	清水昭史 (機S38)	2	白藤千秋 (化S42)	2	神門 登 (化S45)	4
末国克己 (物S54)	2	杉浦隆彦 (建S58)	1	杉岡泰蔵 (化S46)	2	杉本 正 (電S35)	2
鈴木理子 (物S56)	2	住吉正信 (土S46)	2	瀬川伸一 (機S49)	2	関 哲郎 (機S38)	2
瀬古謙一 (建S47)	2	千田恒人 (機S36)	2	高岸秀宜 (電H6)	2	高桑久茂 (電S46)	2
高田 満 (都電S22)	20	高橋堅二郎 (建S41)	2	鷹羽宏治 (知H16)	1	高山直揮 (物S45)	2
高山吉龍 (機S51)	6	瀧川益生 (機S54)	2	武井昭洋 (土H5)	6	武田英司 (機S41)	4
竹中恭二 (機S44)	4	田中忠利 (機S49)	1	田中秀樹 (機S52)	2	谷川徳彦 (機H5)	2
谷本隆一 (機S50)	2	田守芳勝 (物S38)	2	千藤和成 (化S54)	2	塚本晃久 (機H4)	2
辻 孝誠 (機H5)	10	辻江賢治 (土S48)	2	土屋浩一 (電S40)	2	常城晋治 (建S53)	1
寺尾 章 (建S49)	2	土居 毅 (機S41)	2	徳本行信 (土S46)	2	畠山義司 (機S39)	2
豊田慎吾 (土S52)	2	内藤伸吾 (土S58)	2	中井康秀 (物S46)	2	永井 茂 (土S50)	2
中尾義彰 (物S33)	2	中島重子 (物S35)	2	永島敏郎 (建S55)	2	永田常雄 (土H5)	2
中西克之 (電S45)	2	中野正夫 (建S49)	6	中前直也 (電H7)	2	長棟淳司 (土S58)	2
中村恭三 (建S39)	2	中村 司 (土S58)	2	鍋本 誠 (土S50)	5	西尾和久 (土S42)	2
西尾健司 (化S49)	2	西口克彦 (化S43)	2	西臺 宏 (物S39)	2	西田久生 (物S45)	2
西村培史 (土S40)	2	西山健一郎 (化S47)	1	野田忠男 (物S45)	2	野田知哉 (情H10)	6
橋本興三 (機S38)	1	橋本裕彰 (土S54)	6	橋本良之 (土S39)	2	服部俊一 (土S36)	2
濱澤良和 (電S36)	4	浜田昭夫 (建S42)	2	濱田 明 (電S52)	6	浜田 勝 (電S38)	2
林 弘志 (機S41)	2	林 芳尚 (建S55)	2	原田祐司 (土S55)	2	春田正智 (土S41)	2
比企 執 (物S36)	2	菱井正夫 (物S45)	2	廣田尚彦 (化H1)	2	福田清一 (土S58)	2
福富芳樹 (電S42)	2	福原裕治 (建博H15)	2	福本 寛 (物S32)	2	藤田 誠 (電S41)	2
藤平 勝 (土S44)	4	藤原陽一 (化S49)	2	古家泰三 (化S42)	10	古川 浩 (土S54)	2
古谷利男 (土S49)	2	文野結紀 (土S40)	2	細川省一 (電S33)	6	本田 清 (電S34)	2
麻殖生健二 (電S41)	2	米原稔雄 (建S61)	2	前川紀夫 (化S40)	1	前田栄治 (建S59)	2
前田孝士 (土S52)	100	前田雅彦 (電S41)	2	禎田 昇 (化S46)	2	正木義則 (物S44)	2
松井映明 (土S36)	2	松井佳章 (化S47)	2	松岡 洋 (建S42)	2	松谷壽信 (物S40)	2
松塚幾善 (建S46)	2	松本邦雄 (建S56)	1	松本美治男 (物S45)	2	松本 稔 (機S31)	2
松本 亘 (機S33)	4	万谷隆宏 (建S38)	2	三浦孝之 (機S43)	2	三品文雄 (土S50)	2
水谷 亨 (化S43)	2	水原和夫 (化S43)	2	溝口 進 (機S41)	1	宮内 淳 (機S52)	1
宮内一郎 (土S53)	2	宮尾信昭 (都機S23)	2	三宅邦夫 (土S38)	2	宮原賢二 (建S61)	2
宮本万功 (機S43)	2	宮本 潔 (土S37)	4	宮本慶三 (土S61)	1	宮本英希 (電S42)	4
三好康一 (物S43)	2	向山 博 (電S45)	3	武藤明德 (化S57)	2	村瀬通三 (電S31)	2
百瀬 豊 (機S41)	2	森 宏治 (土S40)	2	森下英利 (土H8)	2	森 悠 (化H14)	2
森本幹雄 (機S42)	1	森山 弘 (電S44)	4	八木利郎 (物S32)	2	八木裕有 (建S51)	2
安木正志 (物S55)	2	安田 要 (機S52)	2	安田 裕 (化S48)	4	安原喜之 (化S42)	10
柳川重昌 (物S44)	60	山岡秀嘉 (機S38)	2	山岸 茂 (物S45)	2	山口五十二 (機S43)	1
山口尚二郎 (機S41)	2	山口南海夫 (電S44)	4	山口元樹 (建S53)	2	山崎嘉彦 (機S37)	2
山下 勝 (機S41)	2	山本 智 (土S58)	2	山本 孝 (物S45)	2	横田久昭 (物S45)	2
横山幹彦 (化修S43)	2	吉井 巖 (建S59)	2	吉尾 勲 (土S46)	2	吉川 浄 (機S58)	2
吉田耕治 (建S53)	2	吉田 稔 (機S52)	4	吉村憲昭 (電H16)	2	米田正博 (化S51)	1
劉 美春 (電S41)	2	脇田 勇 (物S51)	6	和倉慎治 (物S45)	2	匿名希望	2

事務局便り

評議員会報告

日時 2020年2月22日（土）午後2時から

場所 大阪市立大学学術情報総合センター

議案 ①2019年度（第24期1年度）事業報告
 ②2019収支決算及び会計監査報告
 ③2020年度（第24期2年度）理事会役員案
 ④2020年度事業計画案
 ⑤2020年度予算案
 ⑥その他

議案書抜粋

①第24期第1年度（2019年1月～12月）収支決算書
 (イ) 経常費収支決算表 (円)

収 入		支 出	
終身会費	5,310,000	会議費	196,696
貯金利息	28	行事費	204,074
経常寄付	455,000	交流・懇親行事費	62,900
前期より繰越金	6,222,010	会報発行費	1,861,093
		会員データ管理費	183,600
		協賛費	924,930
		渉外費	0
		事務局費	2,456,380
		通信費	102,336
		事務費	142,608
		備品費	120,275
		会費徴収費	56,393
		予備費	0
		次期への繰越金	5,675,753
合 計	11,987,038	合 計	11,987,038

(ロ) 貸借対照表 (2019年12月末) (円)

借 方		貸 方	
振替口座	2,330,701	2018年度 累計剰余金	6,222,010
普通預金	16,358,034	2018年度 剰 余 金	△546,257
定期預金	20,000,000	特別基金	33,012,982
合 計	38,688,735	合 計	38,688,735

②第24期第1年度（2020年度1月～12月）理事会役員

会 長：宇野勝久（建49）
 副会長：吉田 稔（機52） 向山 博（電45）
 神門 登（化45） 日野泰雄（土50）
 齋藤壽士（物44）
 会 計：東 恒雄（機41）
 理 事：宮本万功（機43） 笠上文男（機50）
 瀧山 武（機59） 中谷隼人（知材H16）
 建部 渉（電35） 行藤三男（電36）
 南 繁行（電45） 木村雅之（電51）
 村治雅文（電62） 西 邦夫（電H13）
 山田文一郎（化修40） 三浦洋三（化42）
 西口克彦（化43） 安田 裕（化48）
 大嶋 寛（化49） 浅井真一（土48）
 黒山泰弘（土50） 廣瀬彰則（土54）
 大島昭彦（土55） 東 安彦（土57）
 上林恭子（土H5） 真志義昭（昭41）
 坂 壽二（建42） 太田隆司（建55）
 小西浩夫（建56） 谷口徹郎（建59）
 田守芳勝（物38） 柳川重昌（物44）
 山本 孝（物45） 安木正志（物56）
 大前秀治（物56）
 監 事：志野太一（物40） 高桑久茂（電46）

③第24期第2年度（2020年1月～12月）事業計画

- ①会報第36号を12月中に発行
- ②工学部・全市大行事及び事業への協力
- ③会員相互の親睦交流の促進
- ④特別基金の活用
- ⑤工学部同窓会奨学金基金の運用
- ⑥準会員（在学生）の工場見学の実施
- ⑦工学部・同窓会共催；新任・若手教授による講演会の実施
- ⑧同窓会の在り方検討

④第24期第2年度（2020年1月～12月）経常費予算 (円)

収 入		支 出	
終身会費	5,650,000	会議費	160,000
貯金利息	1,000	行事費	100,000
経常寄付	459,000	交流・懇親行事費	100,000
前期繰越	5,675,753	広報費	1,860,000
		会員データ管理費	200,000
		協賛費	1,000,000
		渉外費	10,000
		事務局費	2,500,000
		通信費	100,000
		事務費	150,000
		備品費	50,000
		会費徴収費	30,000
		予備費	50,000
		次期への繰越金	5,675,753
合 計	11,985,753	合 計	11,985,753

2020年工学部卒業新評議員名簿

機械工学科 大畑 篤史 萩原 彰
 電子・物理工学科 神倉 玲 船木 亮平
 電気情報工学科 岸 郁弥 早川 真央
 化学バイオ工学科 東 昂 福田 小夏
 建築学科 木本明咲花 竹本 悟士
 都市学科 岩田 鈴花 山口 智也

第32回評議員会のお知らせ

評議員各位には当会の活動に種々ご協力頂き誠にありがとうございます。

さて、第32回評議員会を2021年2月13日（土）に開催を予定しています。ただ、新型コロナウイルス感染症の状況により、別の手法（郵送またはメール審議等）に変更する可能性があります。

詳細は後日ご連絡しますのでよろしくお願いいたします。

理事会報告

第24期第4回理事会	
日 時	2019年12月11日午後6時～
場 所	大阪市立大学文化交流センター 小セミナー室
参加理事数	15名
主な議題	①会長報告 ②事務局報告 ③奨学金関係報告 ④同窓会報35号の発行について ⑤第31回評議員会の開催について ⑥事務局備品の購入について

第24期第5回理事会	
日 時	2020年2月3日午後6時～
場 所	大阪市立大学文化交流センター 小セミナー室
参加理事数	15名
主な議題	①会長報告 ②事務局報告 ③奨学金関係報告 ④評議員会議案について

第24期第6回理事会	
日 時	2020年7月15日午後6時～
場 所	大阪市立大学文化交流センター大セミナー室
参加理事数	14名
主な議題	①会長報告 ②事務局報告 ③奨学金関係報告 ④5月19日臨時理事会（メール審議）報告 ⑤工学部同窓会の在り方検討（WG決定） ⑥COVID19で困窮する工学部学生への支援について ⑦今年度行事（大学及び同窓会）への対応について

第24期第7回理事会	
日 時	2020年9月16日午後6時～
場 所	大阪市立大学文化交流センター大セミナー室
参加理事数	14名
主な議題	①会長報告 ②事務局報告 ③「COVID19困窮OCU工学生支援制度」への寄付について ④評議員会の開催について ⑤同窓会報の発行について

2020年度奨学生採用報告と 2021年度入学生以降奨学生募集の 停止について

工学部同窓会設立50周年記念事業として創設された「工学部同窓会奨学金」制度は、同窓会の保有資産から3,000万円、設立50周年記念募金（2009年9月～2011年3月）から850万円、合わせて3,850万円を運営資金として2009年に発足しました。

経済的理由により入学後の修学に困難が予想される優秀な高校生に対して、入学試験の出願時期より1ヶ月以上も前に奨学生の募集と内定を行い、入試に合格した場合には入学手続き時より奨学金を貸与するのが特徴です。入学手続き時に50万円、それ以降2、3、4年進級時にそれぞれ25万円の計125万円を無利子で貸与します。

2020年度は推薦入試（指定校制推薦を含む）合格者1名および一般入試（前期日程）合格者1名に対し、入学時に各50万円を貸与しました。2010年度入学生から奨学生募集を開始し、今年で計16名に貸与したことになります。そのうち、3名が卒業（内1名は大学院前期博士課程修了）、1名は3年終了時点で中途退学し、これら4名の方には「自動送金」により工学部同窓会の銀行口座に順調に返還してもらっています。

さて、高等教育無償化の新法が2019年5月に可決され、また、大阪府は国の制度に大阪府独自の支援を加えるなど、親の経済事情により修学が困難な学生に対する授業料無償化が2020年度入学生から実施されています。加えて、2022年4月に大阪市立大学と大阪府立大学が統合して大阪公立大学に移行することも決まっています。

これらの状況を踏まえ、工学部とも話し合い、2021年度入学生以降の奨学生募集を停止することにしました。現在在学中の奨学生に対する進級時の奨学金貸与は従前どおりです。

奨学金担当理事 東 恒雄（機械・昭和41年卒）

貴志義昭さんを偲んで

市大工学部同窓会第11期（2005年～2006年）会長を務められ、その後も副会長、理事として同窓会活動に尽力いただいた貴志義昭さんが2020年7月15日にご逝去されました。享年77歳です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

貴志さんは、2019年の夏ごろから胃癌を患って、通院で治療をしていましたが、2020年4月には入院して手術をするということでした。しかし6月には手術ができないということで、退院し、自宅で療養されていましたが7月にお亡くなりになりました。

貴志さんは私より7年先輩で、(株)アール・アイ・エーという建築設計事務所で、四十数年間先輩後輩の関係で都市計画（まちづくり）の仕事に携わっていました。私は(株)アール・アイ・エー大阪支社へ入社した時に貴志さんの元で数ヶ月一緒に仕事をし、その後神戸市内の市街地再開発事業推進業務や各都市のまちづくりの基本計画作成業務などの仕事を一緒にさせていただきました。

私はまちづくりの仕事では、地元に入って権利者と協議

宇野 勝久(現会長 昭和49年建築学科卒)

をする仕事が多かったのですが、貴志さんはまちづくりの基本計画作成業務や商業などの需要予測業務等、多数の計画策定業務に携わられました。

(株)アール・アイ・エーを退社後も、まちづくりに関する研究に専念され、都市計画学会や技術士会で活躍されました。また(株)アール・アイ・エーのOB有志で組織する「老酔連」に参加されて、各地の歴史的街並みや名建築を視察することに参加され、いつまでも探究心を忘れない方でした。いつも明るく元気に都市計画の仕事に没頭されておられる姿が目に浮んできます。



会社のOB会（老酔連）で近江八幡市を訪れた時の写真（右側が貴志さん）



編集後記 同窓会だより第36号をお届けします。

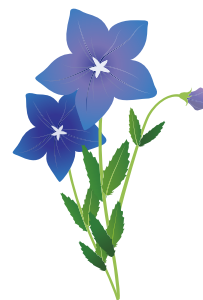
今年は戦後の歴史の中で初めて新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の為、大阪市立大学でも厳しい教育環境を迎えております。新型コロナ禍の大変な状況下にもかかわらず今回の同窓会だよりの発行にあたり、ご寄稿頂きました大学の先生方、卒業生の皆様に感謝申し上げます。例年「ホームカミングデー」に行われる「工学部新任・若手教授による講演会」や在学生を対象とした工場見学会は中止となりました。本学工学部・工学研究科の学生・院生の皆様が修学を諦めることなく明るい未来を目指し、学業に専念して頂けるよう同窓会として大学からの依頼を受けて寄付金などで支援させて頂いております。大阪府立大学との統合後の工学部の同窓会の在り方を検討するワーキンググループが理事会で決定されました。大阪市立大学工学部同窓会ワーキンググループと大阪府立大学の工学部学科代表者との活動を開始致しました。ホームページの理事会活動の中で経過発信しております。卒業生の皆様も積極的なご支援よろしくお願い致します。新型コロナが早く収束して、皆様が同窓会活動に積極的に御参加されることを願っております。（向山 博）

編集委員長 齊藤 壽士(昭和44年応物卒)

編集副委員長 向山 博(昭和45年電気卒)

「工学部同窓会の集い」開催中止のお知らせ

毎年2月に評議委員の開催に併せて開催しておりました「工学部同窓会の集い」は今般の社会情勢に鑑み残念ですが中止いたします。



工学部同窓会員連絡先調査へのご協力をお願い

同窓会員の皆様には毎年12月に「同窓会だより」をお送りします。また、大阪市立大学同窓会（全学同窓会）が発行する「全学同窓会報」も工学部の卒業生には工学部同窓会員名簿に基づき発送しています。しかし、毎年、100名前後の方への発送分が返送されてきます。また、工学部の卒業生（大学院進学者、都島工専卒業生を含む）は14,000人余りですが、約4,000名の方が連絡先不明です。

つきましては、転居の際には学科（専攻）名、卒業（修了）年、氏名、郵便番号、連絡先（現住所）を葉書、メール、または以下の同窓会ホームページの「連絡先変更依頼」よりご連絡ください。また、クラスメートに「同窓会だより」が届いていない方がおられたら、送付先を同窓会事務局に連絡するようお願いください。

工学部同窓会ホームページ：<http://kougakubu.osaka-cu.net/>

〈同窓会事務局連絡先〉

住所：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

電話：06-6607-8373

Fax：06-6605-2769

メールアドレス：dousokai@eng.osaka-cu.ac.jp

大阪市立大学工学部同窓会事務局

投稿方法・事務局への連絡先

会員短信に投稿を希望される方は、工学部同窓会事務局にお問い合わせください。

☎ 06-6607-8373

✉ dousokai@eng.osaka-cu.ac.jp